

### 九州地区

#### エイズキャンペーンに想うこと

北から南から「8 地区 joint FORUM」事業として、今年度日臨技は 12 月 1 日から 7 日までの世界エイズ週間に合わせて、全国展開のキャンペーンを実施しました。

九州地区は福岡県の福岡市、北九州市、鹿児島県、沖縄県の各 4 箇所「エイズ撲滅・・・臨床検査を」のメッセージが流れるスーパービジョンの前で日臨技作成のリーフレットへの関心を高めていただくための啓蒙活動を実施しました。

天候に恵まれた土曜の正午から会員は胸にレッドリボンをつけ、行きかう人々に配布物を手渡す作業を行いました。往来する人は「何事ぞ」という顔をしながらも内容に目を通し、「大変ですね」という心温まる表情へと変化し私たちに後押ししてくださいました。

心は澄みきった晴れ間のように清々しい心情になります。週末とあって人通りが多く、1 時間があっという間に経過しました。

配布終了時は疲労感はなく充実感であふれます。

今この瞬間も世界各地でエイズで苦悩している人たちの存在を考えたとき、改めて職務への情熱と誇りが湧き上がってきます。

【上田 誠】



## 地区開催報告

### 関東甲信地区

#### 「エイズ予防啓発活動」 8 地区 Joint 日臨技 FORUM

「世界エイズデー」の 12 月 1 日（土）、関東甲信地区の東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県技師会は、街頭大型ビジョンを用いたエイズ予防啓発映像の放映およびエイズ予防啓発リーフレットの配布を行った。



レッドリボンバッジを身につけ、新橋駅 S L 広場、川崎駅アゼリア、横浜モアーズ前、柏駅、大宮アルシエの 5 会場で、「日臨技 ストップエイズ！」の映像が放映されるなか、各会場 10 名程の会員が 9 時ごろから数時間、行き交う市民に街頭キャンペーンを展開した。

千葉県臨床検査技師会は 12 月 1 日（土）・2 日（日）、千葉県エイズストップウィーク 2007 キャンペーン「ストップエイズ検査」を受託し、新浦安駅「浦安市民プラザ Wave 101」会場でエイズ検査を行った。



イムノクロマト法で即日検査を行い、臨床心理士ならびに保健師による結果説明およびカウンセリングを実施した。また、会場ではエイズ啓発パネルの展示および「日臨技 ストップエイズ！」を放映した。

埼玉県臨床検査技師会はさいたま市保健所と協力し、大宮アルシエ近傍にエイズ検査を行う会場（ジャック大宮内）を特設し、さいたま市保健所の臨床検査技師がエイズ検査を行った。



また、日臨技が用意したエイズ啓発ポスター、リーフレットと一緒にさいたま市保健所が用意した啓発用ポケットティッシュに、JAMT 傷絆創膏・エイズ予防財団発行のストップエイズ小冊子を挟み込みエイズ予防を訴えた。毎日映画社が横浜・新橋駅 S L 広場の活動状況取材に訪れ、夕方 6 時 55 分からの BS11 の番組内でエイズ予防啓発活動の様子が放映された。

【五内川里子】

